

平成28年 6月5日(日)～11日(土)

危険物安全週間

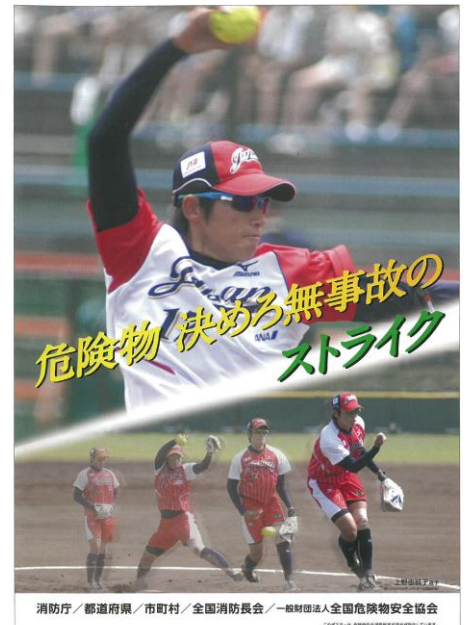


危険物安全週間が実施されます！

毎年6月の第2週は全国一斉に「危険物安全週間」が実施されます。今年は6月5日(日曜日)から11日(土曜日)までの7日間です。この週間は、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発の推進により、各事業所における自主保安体制の確立を図ることを目的に創設され、期間中、全国で様々な行事等が行われます。

塩釜地区消防事務組合においても、平成28年度危険物安全週間推進標語「危険物 決めろ無事故の ストライク」をスローガンに、危険物施設への立入検査の強化、通報・消火などの訓練指導、リーフレット配布などを行い、危険物に起因する災害の未然防止に努めて参ります。

平成28年度危険物安全週間推進ポスターのモデルは、ビックカメラ女子ソフトボール高崎所属の「上野由岐子選手」です。



『危険物』とは？

消防法で定められているもので、一般的に次のような危険性を持った物品をいいます。

1. 火災発生の危険性が高い
2. 火災拡大の危険性が高い
3. 消火の困難性が高い

皆さんの身の回りにある危険物を含む商品の安全な使用・保管をお願いしています。

◎危険物を含む商品の例

燃料

ガソリン、
軽油、灯油



塗料

合成樹脂塗料、
ラッカーシンナー



化粧品

マニキュア、
除光液



その他

防水スプレー、アウトドア
用助燃剤、アロマオイル、
高濃度アルコール飲料

◎危険物を含む商品を使用・保管するときの注意事項

- ・風通しが良く、換気の良い場所で行いましょう。
- ・火気(ガステーブル、ライター等)の回りで使わないようにしましょう。

身の回りの危険物品を
見直そう！



塩釜地区消防キャラクター
「塩防くん」

塩釜地区消防事務組合

危険物事故の発生状況

全国における最近の危険物施設事故は、平成19年の603件をピークとし、2年連続で減少したものの、再び増加傾向となっており、高い水準で推移しています。

事故の原因として、火災の着火原因は静電気火花が最も多くなっています。流出事故の原因は物的要因が最も高く、腐食疲労等劣化によるものが全体の約4割となっています。次いで人的要因（約3割）、その他の要因（約1割）の順となっています。

事故防止対策として、法令による規制に併せて、それぞれの施設における日常点検の徹底や作業員の安全意識を高めることも重要です。

セルフスタンドの事例

静電気除去シートに正しく触れなかったために……



事故概要: セルフスタンドでバイクに給油するために給油口を開け、静電気除去シートには触れたものの手袋を着用したままだったため、十分に静電気を除去できず静電気火花が発生し、ガソリンの蒸気に引火し火災となりました。

教訓・対策

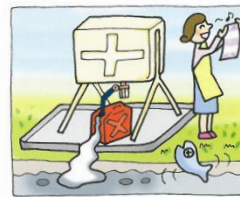
- 冬季であっても手袋を外して静電気除去シートに触れてください。
- 従業員は顧客の給油状況を監視し、危険な行為を発見したときは直ちに中断させてください。
- 給油操作の方法を明記し、また、静電気除去シートの設置場所や静電気火花による出火の危険性をわかりやすく表示してください。

流出事故の事例

ホームタンク本体からの流出



事故概要①: ホームタンク本体が腐食しており、腐食孔から灯油が漏えいし側溝に流出しました。



事故概要②: 家庭で、ホームタンクから灯油を容器に移し替えている最中に、その場を離れたことにより灯油が漏えいし、水路に流出しました。

教訓・対策

- ホームタンクに腐食や破損等がないか定期的に点検してください。
- ホームタンクから注油するときは、目を離さず、バルブの閉め忘れに注意してください。

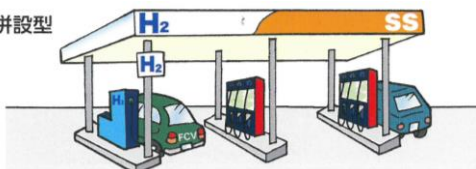
コラム 水素ステーションを併設したガソリンスタンドの整備が始まりました！

平成26年12月に水素（H₂）を燃料として用いる燃料電池自動車（FCV車）の一般販売が世界で初めて日本で開始されました。これに併せて単独型水素ステーションの整備が続き、いろいろな形態の水素ステーションの整備が始まっています。

また、現在、仙台市宮城野区幸町に東北地方では初となる商用水素ステーションの開設が進められており、今年度中に完成する予定です。

水素ステーションの形態による分類（一例）

● 水素ステーション併設型
ガソリンスタンド



● 単独型水素ステーション

